安積地区の支援関係者を対象に

安積地区地域共生発見ラリーを開催します

2026 年 11 月 5 日
郡山市保健福祉部
保健所保健・感染症課
課長　古川　哲也
TEL：924―2070

ターゲット 3. 8

SDGs ターゲット 3.8「すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。」

郡山市障がい者自立支援協議会では、精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括※1）のモデル地区※2として、安積地区の福祉関係者間で精神障がいを中心とする障がいに関する理解を深めてきました。

今年度は、地区にあるさまざまな事業所をまわり意見交換することで、地域で生活し活動する障がい等のある方への理解と交流を深めていくことを目的に本イベントを開催します。

1　日　　時　　11 月 11 日（水）　午後 1 時 30 分～3 時 30 分
2　会　　場　　郡山市安積町三日市エリア及び
認定 NPO 法人アイ・キャン（郡山市安積 4 丁目 3-1）
※集合場所は、桧ノ下公園（郡山市安積３丁目２７８）
3　内　　容　　３ルートに分かれて、ゴミ拾いをしながら街歩き（プロギング※3）を行い、障害、児童及び高齢者の事業所をまわり意見交換を行う。
4　ル ー ト　　①桧ノ下公園→ファミリー生活介護事業所（障害生活介護事業所）
→おもいやり（障害就労継続支援Ｂ型事業所）→アイ・キャン
②桧ノ下公園→ファミリーキッズ（児童放課後等デイサービス）
→コンパスウォーク（高齢リハビリデイサービス）→アイ・キャン
③桧ノ下公園→こころ（高齢グループホーム）→アイ・キャン
5　参 加 者　　安積町三日市・笹川・荒井エリアの福祉・介護・児童分野の支援関係者及びエリアの民生児童委員、地区エリア区長（三日市のみ）
6　主　　催　　郡山市障がい者自立支援協議会　自立生活支援部会
郡山市福祉まるごと相談窓口南西エリア
郡山市障がい者地域生活支援拠点事業

※1　にも包括とは、精神障がいの有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障がい福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保されたシステムのこと。

※2　モデル地区とは、郡山市障がい者自立支援協議会の自立生活支援部会で、精神障がいも含めた「地域の障がいの理解の促進」と「専門職ネットワークの構築」を活動の目標に 2 か所（安積地区及び開成地区）を選定し、先駆的に活動を進めている地区です。

※3　プロギング（plogging）とは、ジョギングとごみ拾いを組み合わせた新しいフィットネス・スポーツです。

にも包括　あさか班

安積地区 福祉事業所
ネットワークイベント
プロギング



歩いて・ひろって・つながる。地域を知る２時間。



開催目的・内容

安積地区ではこれまで、にも包括のモデル地区として、
精神障がいを中心とする障がいへの理解を深めてきました。
令和８年度は、地区にあるさまざまな事業所をまわり、
意見交換を通して、地域で暮らし活動する障がいのある方への
理解をさらに深めることを目的に開催します。

開催概要

日 時	令和８年 11月11日（水） 13:30～15:30
定 員	約30名程度
集合場所	桧ノ下公園
受 付	13:15～13:30
実施時間・内容	13:30～15:30 三日市・笹川地区にある６ヶ所の福祉事業所を グループに分かれて２事業所を見学します。 その後は、移動の際にプロギングをします。

対象

- 三日市・笹川地区の
  介護・精神・児童の福祉事業所職員、民生委員
- 精神障がい者にも対応した
  地域包括ケアシステムワーキンググループ
- 郡山市障害者自立支援協議会　自立支援部会

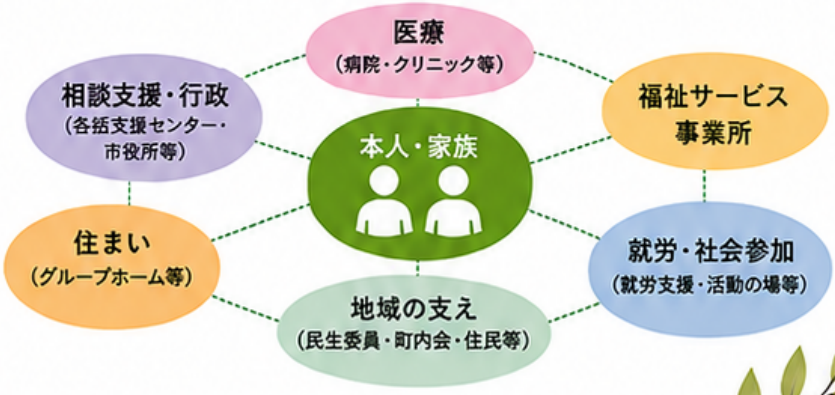
一緒に歩いて、まちをきれいに。
つながりが広がるきっかけに！

「にも包括」とは？

「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）」は、精神障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、医療・福祉・介護・住まい・就労・地域の支え等が連携し、包括的に支援する体制のことです。

あさか班は、安積地区をモデル地区として、
地域の関係機関や住民とともに、その仕組みづくりや
理解促進に取り組んでいます。

地域で支え合うネットワーク



主催　郡山市障がい者自立支援協議会　自立生活支援部会
郡山市福祉まるごと相談窓口南西エリア
郡山市障がい者地域生活支援拠点事業

お問い合わせ先　認定NPO法人アイ・キャン　鈴木　TEL：024-983-5832　Mail:coraggio@asaka.or.jp